

まちづくりWGからの武庫川づくり5つの戦略と21のアクションプラン案

060531 まちづくりWG取りまとめ 田村

5つの戦略	21のアクションプラン	具体案あるいは例示	総合治水条例盛込案	備考	
0：基礎となるインフラ整備	0-1：武庫川カルテの整備	①既存武庫川カルテの完成と地域資源等追加データの蓄積、公表 ②武庫川を知り親しみ活用するためのパンフ、マップ作成、小中学校の総合学習に活用		*武庫川カルテ図に各地区に対するまちづくりからの提案を図示している	
	0-2：武庫川塾データ整備	①武庫川に関わるソフト、ハード資源（人、自然環境、生活環境、歴史・文化、景観等の資源や資産） ②武庫川塾として扱うデータの収集整理 *地域資源の例（田村）参照			
1：流域の土地利用と川づくりの協力体制づくり	1-1：人口減少等を視野に入れた超長期的土地利用の見直し	①流域人口の減少、高齢社会の進展、産業構造の変化などに伴う土地利用の変化を受けた武庫川づくりの推進と計画のフォローアップ ②逆線引き等		基本方針、整備計画への盛り込み	
	1-2：雨水の流出増をもたらす開発の規制強化等	①武庫川への流出を抑制する土地利用の推進及び都市的土地需要の減少に伴う土地利用転換と合わせた流出抑制型（市民農園、公園緑地、緑化等）土地利用の促進 ②既設防災調整池機能の存続を確保するための制度改善 ③都市計画、条例等による開発規制強化		基本方針、整備計画への盛り込み	
	1-3：街区の耐水化と建築の耐水化を促進する	①浸水危険区域に対し街区全体としての共同建築化、人工地盤化、地盤嵩上げなどによる耐水街区化 ②建替え時のピロティ化、これらの促進のための補助事業制度化 ③一時貯留浸透施設整備促進			
	1-4：危険区域対策と土地利用規制	①浸水危険区域に対する都市計画による土地利用規制および建築規制の整備 ②浸水危険区域内建築物の移転誘導策の検討 ③土砂災害防止法、宅地造成等規制法改正、森林法と連動した危険回避策			
	1-5：公共公益施設、事務所、工場、マンションなどの新設に合わせた流出抑制施設の整備	①武庫川沿川の大規模公共公益施設、学校、事務所、工場、マンションなどの新設時に合わせた、多目的遊水地、地下調節池等の設置促進 ②一時貯留浸透施設整備の促進			宝塚末広地区、三田地区で提案
	1-6：河道狭窄部の拡幅部明示と都市的対応策	①武庫川河道狭窄部の拡幅整備に伴う沿川土地利用の見直し及び建築物の移転など、都市的対応策との協働化、再開発事業等との合築など ②準スーパー堤防整備			阪神鉄橋周辺で提案
2：武庫川らしい流域景観の保全と創出	2-1：流域景観の評価に即した武庫川100年の風景づくりと沿川景観整備方針	①武庫川流域景観の調査、評価分析作業 ②調査分析結果に基づく武庫川らしい景観整備方針の策定、河川空間と沿川の地域資源を活用した景観 ③武庫川らしい100年の川づくり		一部カルテで提案	
	2-2：田園景観と調和した流域景観の保全と創出	①上流域の田園景観と調和した武庫川景観及び田園集落景観の保全と整備 ②流域に残る歴史・文化・自然景観と一体となった武庫川景観の保全と創出 ③水害防備を兼ねた沿川緑化の推進		一部カルテで提案	
	2-3：渓谷景観の保全と育成	①中流域の武庫川峡谷（武田尾渓谷）自然景観の保全と育成、渓谷景観を守る活動 ②自然公園法による武田尾峡谷の自然公園指定			一部カルテで提案
	2-4：都市景観と一体化した景観の保全と創出	①三田市中心市街地と武庫川の一体的景観の整備、堤防緑化、護岸緑化、親水性を促進する対策 ②宝塚市中心市街地と武庫川の一体的景観の整備、護岸堤防の緑化、親水空間整備、川から山へのスリット景観整備、川を眺める橋詰め広場、沿川建物の川側への開放、沿川に人が集まる工夫と活用等			一部カルテで提案
	2-5：武庫川の景観を活用した都市景観整備	①伊丹、尼崎、西宮市等では武庫川の堤防緑地を市街地の借景として活用している、武庫川から密集市街地へ緑の楔を伸ばす仕掛けづくり			一部カルテで提案
3：河川空間のあり方と都市的活用を見直す	3-1：高水敷や堤防など線的空間活用の工夫、武庫川と一体となった沿川空間の活用	①川の空間は川へ戻すという基本に戻り、武庫川の線的利活用の工夫と促進を図る、また武庫川に隣接する公園、学校、公共施設と一体となった空間利用を促進し、従来の公園的利用の代替を図る			
	3-2：河川空間の都市公園的利用の見直し	①川の空間は川へ戻すという基本に戻り、高水敷など河川空間の都市的活用を見直し、そのための利用実態調査、利用者意向調査、利用圏域など基礎資料を収集する ②親水空間や多自然型川づくり			
	3-3：河川と都市の交流促進策として「川まち交流拠点」の整備	①日常的に武庫川を知り、活かし、守るための交流拠点として、「川まち交流拠点」の整備を図る、整備にあたり極力既存の公共施設やオープンスペース、沿川の民間施設を活用する ②武庫川自然学習の場として活用			地理交通条件、資源分布から配置提案
	3-4：武庫川と都市田園水みどりネットワーク整備	①武庫川緑地軸及び水系網と都市、田園の公園緑地、水路、水系網及び公共施設、商業地区等とのネットワーク化（緑と水の回廊づくり） ②雨水、処理水の循環による都市部親水用水の確保と活用			一部カルテで提案
4：住民主体の防災、減災体制づくりの促進	4-1：ハザードマップの作成と防災、減災まちづくりの推進	①ハザードマップに基づく地区あるいは街区毎の防災、減災まちづくりの推進 ②防災、減災まちづくりに向けたデータ整備 ③防災、減災のための情報開示、伝達システムの構築 ④降雨洪水シミュレーション		*住民に分かりやすい減災目標	
	4-2：コミュニティによる自主防災、減災システムの構築	①自助、共助、（公助）による防災、減災対策 ②地区や街区ごとのコミュニティ単位の一次避難、誘導システムの構築、とくに災害弱者支援対策等 ③水害文化の学習と伝承			
	4-3：防災ステーション等の整備	①地域防災計画と連動した防災ステーション等の整備 ②日常的防災教育を意識した「川まち交流拠点」との兼用			一部カルテで提案
	4-4：地域防災計画の水防対策強化	①水害は起きるものとしての水防対策の強化 ②流域各市の水防連携の強化			
5：流域連携による武庫川づくりの推進	5-1：武庫川塾ネットの整備	①武庫川塾の整備と上中下流の塾ネットの構築、②武庫川塾を活用した日常的活動の情報発信と連携 ③武庫川文化の共有化施策、イベント、祭り、地産地消活動			
	5-2：武庫川学、武庫川学会等流域総合治水を推進する総合治水条例作り武庫川総合窓口設置	①武庫川と流域に関わる人、もの、こと等の情報収集、情報発信、調査研究、教育 ②武庫川流域の総合治水及び武庫川づくりを推進するための総合治水条例（武庫川条例）の検討と制定 ③沿川自治体における武庫川に関する総合的窓口の設置		*流域災害基金創設	

\*注：上記提案の中でとくに「総合治水計画」に対し有効と考えられる提案を黄色で示す